

2017.5.

日露医学医療交流財団

事務局長 徳矢 守

日露内視鏡外科シンポジウム参加報告

(出張期間) 平成 29 年 4 月 5 日(水)～9 日(日)

(日本側参加者) 5 名

木下 敬弘 先生(国立がん研究センター東病院)

長谷川 傑 先生(福岡大学)

オリンパス株式会社 濱岡部長

財団 酒井常務理事、徳矢事務局長

※ 現地でのアテンドを Ms.Svetrana Karpova 氏に依頼した。

(シンポジウム参加日) 平成 29 年 4 月 6 日 (木) 9 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0

(場所) モスクワ市 ホテル「コスモス」内会議場

(日本側発表者と内容)

木下 敬弘 先生(国立がん研究センター東病院)

“Laparoscopic radical gastrectomy for advanced gastric cancer”

「進行性胃がんに対する腹腔鏡手術の基本的な摘出術」

長谷川 傑 先生(福岡大学)

腸の手術に関するプレゼンテーション

※聴衆は約 200 名程度であった。

(感想)

今回内視鏡外科シンポジウムに参加させていただき感謝しております。

シンポジウムにおける日本側の参加は 4 月 6 日(木)でしたが、シンポジウムは 4 月 4 日(火)～7 日(金)に亘りホテル内の様々な会場で種々の分野におけるプレゼンテーションなどが行われており今回の日本側の参加は全体から見るとほんの一部での参加となります。

木下先生、長谷川先生のプレゼンにおいては会場が満杯となる約 200 名の参加があり、皆熱心に耳を傾けておりました。プレゼン後の質疑においても活発なやり取りがなされ、テーマに対する関心の高さがうかがえました。両先生で約 3 時間、盛況のうちに発表を終えることができました。

今回が日本内視鏡外科学会、ロシア内視鏡外科学会、当財団との三者間契約(MOU)締結後の初めてのシンポジウムでしたが、今後も引き続き三者間の緊密な協力のもと更にこの取り組みを発展させていきたいと考えております。

以上